

# プラント災害シミュレーション

## サポートプランのご案内

### ～フルサポート／パーシャルサポート～

2026年1月

株式会社 FPEC

お客様の状況やご予算に合わせてお選びいただける、**2つのプラン**をご用意いたしました。「評価・計算の工数を削減したい」「専門家のアドバイスを受けながら計画を立てたい」といったご要望にお答えします。

「どちらのプランが自社に適しているか分からぬ」 という場合も、まずはお気軽にお問い合わせください。課題をお伺いし、どちらのプランがより最適かをご提案させていただきます。

#### 1. フルサポートプラン（一任型）

～ワンストップですべてを完結。条件設定から報告書作成まで一括お任せください。～

- こんな方におすすめ：

専門知識を持つ担当者が不在で、ゼロから進め方が分からぬ  
プロジェクトが山積みで、まるごと信頼できるプロに任せたい  
妥当性の高い、質の高い最終報告書をそのまま社内・顧客へ提出したい

- メリット：

専門家の知見をフル活用し、技術的な妥当性を担保  
社内リソースを消費せず、プロジェクトのスピードを最大化

- ご提供する成果物：

検討報告書  
付属書（シミュレーション結果詳細）※想定シナリオに応じて異なります。

#### 2. パーシャルサポートプラン（共創型）

～ 専門性の高い計算業務をピンポイントでお任せください。貴社が注力すべき業務を強力にバックアップします。～

- こんな方におすすめ：

条件設定や考察は自社でやりたいが、単純な計算リソースが足りない  
特定の解析ソフトや高度な計算環境だけをスポットで利用したい  
予算を抑えつつ、ボトルネックとなっている作業だけを効率化したい

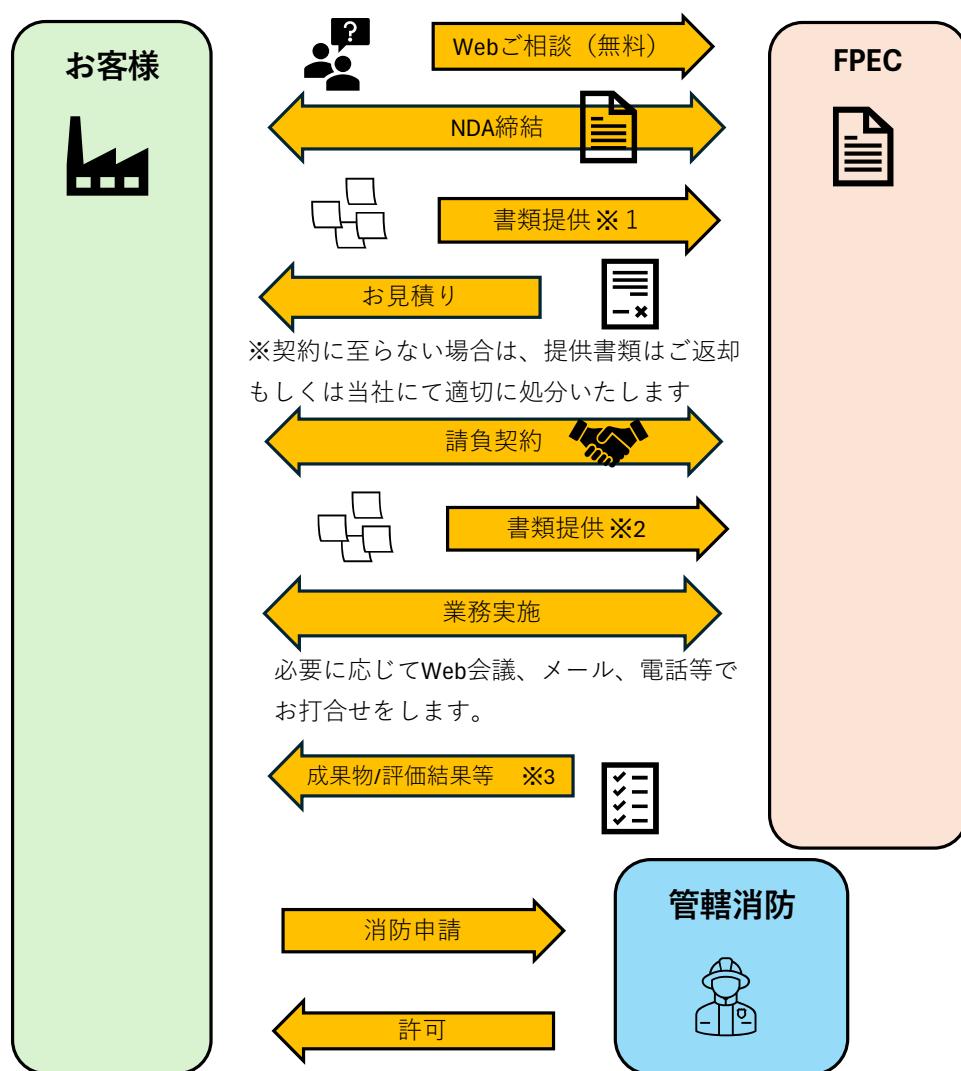
- メリット：

外注コストを最小限に抑え、予算内でプロジェクトを完結  
コアとなる判断（条件設定や考察）を社内で行うため、ノウハウが蓄積される

- ご提供する成果物：

評価方法説明資料  
影響範囲マップ（※シミュレーション内容により加除あります）

### 【基本業務フロー】



## 【必要資料と成果物】

プランに応じた、お客様より見積、評価時にご提示いただく資料、弊社からご提示する成果物の一覧となります。

### A. フルサポートプラン

	全てのシミュレーション
1. 見積に必要な資料	①漏洩源となる対象の機器図・系統図・配置図 ②貯蔵物質の安全データシート ③大気条件（風向・風速・気温・湿度・雲量）
2. 評価に必要な資料	①対象周りの配置図 ②防油堤/防液堤の高さと構造 ③着火が予想される周辺施設等の場所 ④配管サービスクラス ⑤安全弁等のデータ ⑥事故発生日時
3. 成果物	①検討報告書 ②付属書（シミュレーション結果詳細） <ul style="list-style-type: none"> <li>a.漏洩量・ガス発生量の経時変化データ</li> <li>b.ガス拡散マップ（時間経過ごとの濃度マップ）</li> <li>c.フラッシュファイア発生範囲マップ</li> <li>d.火災による輻射強度マップ</li> <li>e.爆発による圧力波マップ</li> <li>f.ファイアーポールによる輻射強度マップ</li> </ul> ※想定シナリオに応じて加除があります。

### B. パーシャルサポートプラン

	ガス拡散シミュレーション	輻射熱シミュレーション
1. 見積に必要な資料	①大気条件（風向・風速・気温・湿度・雲量） ②放出口口径・放出高さ ③ガスの組成 ④漏洩ガス量とガス温度の経時変化データ ⑤もし漏洩が止められる場合、停止までの時間	①機器図・配置図・設置高さ ②火災面積（タンク・防油堤など）がわかる資料 ③燃焼物の安全データシート ④大気条件（風向・風速・気温・湿度） ⑤輻射強度マップに表示する受熱面高さ
2. 評価に必要な資料	上記と同じ	上記と同じ
3. 成果物	①評価方法説明資料 ②ガス拡散マップ（時間経過ごとの濃度マップ）	①評価方法説明資料 ②火災による輻射強度マップ
	爆発シミュレーション (BLEVE)	爆発シミュレーション (VCE)
1. 見積に必要な資料	①機器図・配置図・設置高さ ②爆発発生時の、容器内の圧力・温度・液量データ ③貯蔵物質名 ④大気条件（気温・湿度）	①予想着火場所の情報 ②対象ガス名 ③大気条件（気温・湿度）
2. 評価に必要な資料	上記と同じ	①着火時に爆発に寄与するガス量 ②爆発係数
3. 成果物	①評価方法説明資料 ②爆発による圧力波マップ ③ファイアーポールによる輻射強度マップ	①評価方法説明資料 ②爆発による圧力波マップ

ポイルオーバー	
<b>1. 見積に必要な資料</b>	①機器図・配置図 ②大気条件（気温・湿度）
<b>2. 評価に必要な資料</b>	①油の蒸留データ ②火災時の油面高さ・水層の管理高さ
<b>3. 成果物</b>	①評価方法説明資料 ②ポイルオーバー発生予測結果図 ③バーニングフロス飛散範囲マップ ④バーニングフロスによる輻射強度マップ